

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	相談援助の理論と方法A（Theory and Method of Social WorkA）		
ナンバリングコード	E30928	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 社会福祉
単位数	4	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E042801	クラス名	-
担当教員名	鍋田 耕作		
履修上の注意、 履修条件	社会福祉士国家試験受験資格を取得しようとする者は必ず受講してください。 また、応用レベルの科目のため、社会福祉援助技術演習Ⅱを履修していることを条件とします。 すでに「相談援助の基盤と専門職A・B」を履修していることが望ましい。 よく考えること、たくさん読むこと、真摯な態度で授業に臨むことを心がけてください。		
教科書	新・社会福祉士養成講座7『相談援助の理論と方法Ⅰ』中央法規出版		
参考文献及び指定図書	MINERVA社会福祉士養成テキストブック3・4『ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ』ミネルヴァ書		
関連科目	相談援助の基盤と専門職 社会福祉援助技術演習Ⅱ		

○基本情報		
授業の目的	ソーシャルワーカーとして欠くことのできない技術の理解・習得を目的とします。 ① 人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 ② ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 ③ ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。 ④ コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 ⑤ ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。	
授業の概要	「社会福祉士及び介護福祉士法」は、「身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するの者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うこと」を、「相談援助」と位置づけている。「相談援助の理論と方法」は、個人、家族、小集団・組織、地域社会をクライアント・システムとしてとらえ、それらのシステムを横断する統一的なソーシャルワーク理論を展開する点に特徴がある。本科目では、相談援助の構造と機能、相談援助における援助関係、相談援助の展開過程、アウトリーチの技術、契約の技術、アセスメントの技術、介入の技術、経過観察（モニタリング）・再アセスメント・効果測定・評価の技術、面接の技術、記録の技術、交渉の技術を講ずる。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	「人と環境」に対して関心を持つことができる。		20点	
【知識・理解】	「人と環境」をシステムとして把握し、相談援助の理論と技術を理解できる。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	相談援助とは何かを自分の言葉で解説できる。		20点	
【思考・判断・創造】	相談援助の必要性を現実社会において想定することができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
講義内容についての考察(学修に取り組む姿勢・意欲)及び内容(専門知識の活用等) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 講義内容に関する意見交換について、次回以降の講義時間内にフィードバックを行う。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	相談援助の理論と方法A（Theory and Method of Social Work） 鍋田 耕作	授業コード	E042801
学修内容					
1. 人と環境の交互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク①					
「システム理論」「生態学理論」について理解する。 ※キーワード: 一般システム理論、サイバネティックス、自己組織性					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
2. 人と環境の交互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク②					
「バイオ・サイコ・ソーシャルモデル」「マイクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワーク」について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
3. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①					
「医学モデル」「生活モデル」「ストレングスモデル」について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
4. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②					
「心理社会的アプローチ)」について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
5. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ③					
「機能的アプローチ)」について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
6. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ④					
「問題解決アプローチ)」について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
7. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑤					
「課題中心アプローチ)」について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
8. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑥					
「危機介入アプローチ)」について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間

○授業計画		科 目 名	相談援助の理論と方法A（Theory and Method of Social Work	授業コード	E042801
		担当教員	鍋田 耕作		
学修内容					
9. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑦					
「行動変容アプローチ」について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
10. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑧					
「エンパワメントアプローチ」について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
11. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑨					
「ナラティヴアプローチ」について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
12. ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑩					
「解決志向アプローチ」および様々なアプローチについて理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
13. ソーシャルワークの過程①					
1 相談援助の全体像を理解する。					
2 相談援助の過程の各段階の機能を理解する。					
3 相談援助の過程における援助者の役割について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
14. ソーシャルワークの過程②					
1 援助展開の基礎となる本質的な原理を理解する。					
2 相談援助の過程において援助者が準ずる原則（共通原則）を理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
15. ソーシャルワークの過程③					
「ケースの発見」について理解する。					
※キーワード: アウトリーチ、スクリーニング					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
16. ソーシャルワークの過程④					
「インテーク」の意義、目的、方法、留意点について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	相談援助の理論と方法A（Theory and Method of Social Work	授業コード	E042801
		担当教員	鍋田 耕作		
学修内容					
17. ソーシャルワークの過程⑤					
「アセスメント」の意義、目的、方法、留意点について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
18. ソーシャルワークの過程⑥					
「アセスメント」の意義、目的、方法、留意点について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
19. ソーシャルワークの過程⑦					
「プランニング」の意義、目的、方法、留意点について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
20. ソーシャルワークの過程⑧					
「プランニング」の効果と限界の予測、支援方針・内容の説明・同意について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
21. ソーシャルワークの過程⑨					
「支援の実施」および「モニタリング」の意義、目的、方法、留意点、効果測定について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
22. ソーシャルワークの過程⑩					
「支援の終結と事後評価」および「アフターケア」の意義、目的、方法、留意点について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
23. ソーシャルワークの記録					
「記録」の意義、目的、方法と実際について理解する。 ※キーワード:ソーシャルワークの質の向上、支援の継続性・一貫性、機関の運営管理、教育・研究、アカウンタビリティ					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
24. ケアマネジメント					
「ケアマネジメント」の原則、意義と方法について理解する。 ※キーワード:ケアマネジメントの歴史、適用と範囲、意義、プロセス、モデル					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	相談援助の理論と方法A（Theory and Method of Social Work） 鍋田 耕作	授業コード	E042801
学修内容				
25. 集団を活用した支援①				
「グループワーク」の意義、目的について理解する。 ※キーワード: グループダイナミクス				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
26. 集団を活用した支援②				
「グループワーク」の原則について理解する。 ※キーワード: 個別化の原則、受容の原則、参加の原則、体験の原則、葛藤解決の原則、制限の原則、継続評価の原則				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
27. 集団を活用した支援③				
「グループワーク」の展開過程について理解する。 ※キーワード: 準備期、開始期、作業期、終結期				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
28. 集団を活用した支援④				
「セルフヘルプグループ」のについて理解する。 ※キーワード: 共感性・分かち合い、ヘルパーセラピー原則、体験的知識、役割モデルの習得、援助者の役割				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
29. コミュニティワーク				
「コミュニティワーク」の意義、目的、展開について理解する。 ※キーワード: ソーシャルインクルージョン、住民参加、地域アセスメント、地域課題の発見・認識、実施計画とモニタリング 組織化、社会資源の開発、評価と実施計画の更新				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
30. スーパービジョンとコンサルテーション				
「スーパービジョン」「コンサルテーション」の意義、目的、方法について理解する。 ※キーワード: 定義、関係、機能、形態と方法				
予習	専門用語の調べ学習			約2時間
復習	確認テストの実施			約2時間
31. 定期試験				
予習				
復習				
32.				
予習				
復習				